

飲食料品値上げ 8月は2311品目 前年比8割増に

「中東発」値上げラッシュが本格化
9月は4千品目超え、約3年ぶりの多さに

「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2026年8月



本件照会先

飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343（直通）
情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/07/31

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに
帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成して
おります。著作権法の範囲内でご利用いただき、
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次回調査の公表予定

2026年9月の発表は

2026年8月31日(月) 午前9時

SUMMARY

2026年8月の飲食料品値上げは、合計2311品目となった。
2026年通年の値上げ品目総数は、1～11月までの判明分で1万8347品目に達した。調査を開始した2022年以降、5年連続で年間1万品目を超えた。通年では前年(2万609品目)を上回る可能性がある。

株式会社帝国データバンクは、2026年8月以降における飲食料品の値上げ動向と展望・見通しについて分析を行った。

〔注〕

品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした

値上げ率は発表時における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

8月の値上げは2311品目 前年比8割増と急拡大

主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした8月の飲食料品値上げは2311品目、値上げ1回あたりの平均値上げ率は月平均15%となった。単月の値上げ品目数が2千品目を超えるのは、2026年7月(2664品目)に続き2カ月連続。8月単月の品目数としては、前年同月(1262品目)から8割増と急拡大したほか、集計を開始した2022年に次いで過去2番目に多い水準だった。

中東情勢の悪化による原油・ナフサ高が、トレーやフィルムの資材価格や原材料高、物流コストなどに波及し、値上げ品目数を大幅に押し上げた。

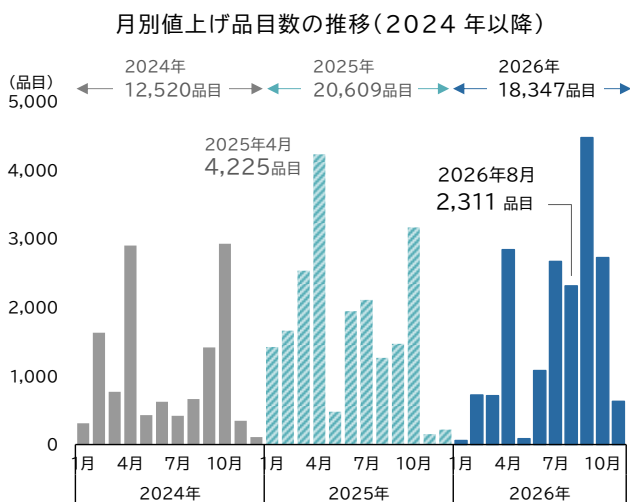
2026年8月の値上げを食品分野別に集計すると、最も多いのはハム・ソーセージなどの食肉製品のほか、カップ麺、缶詰製品、饅頭製品など「加工食品」(1419品目)だった。前年同月(188品目)から約7倍と大幅に増加したほか、8月単月としては2022年(2013品目)以来の高水準となる。だし製品などの「調味料」(589品目)、ゴマ製品や小麦粉、砂糖など「原材料」(276品目)が続いた。

2026年通年の飲食料品値上げ品目数の累計(1~11月までの判明分)は1万8347品目が判明した。調査を開始した2022年以降、5年連続で年間1万品目を超える見込みで、前年(2万609品目)を上回る可能性がある。8月以降では、9月(4531品目)が単月で4千品目を超え、2026年内としては最多となるほか、単月としても2023年10月(4758品目)以来の水準となるなど、大規模な値上げラッシュとなる。10月(2720品目)も、前年10月に続き単月で3千品目を超える見通し。

年間の値上げ品目数を食品分野別に集計すると、最も多いのは冷凍食品やパック米飯など「加工食品」で6667品目に上り、前年の通年実績値(4791品目)を約4割上回った。「調味料」(5197品目)は、だしやたれ製品、醤油製品などが対象となった。「酒類・飲料」(3274品目)は、第三のビールや発泡酒、輸入ワイン、焼酎・日本酒などアルコール類に加え、コーヒーや清涼飲料水も対象となる。「菓子」(1219品目)は、原材料のほか包装パッケージなどのコスト高を背景に、今春以降に値上げが相次いだ。

値上げ要因では、「原材料高」の影響を受けた値上げが90.9%を占め、全要因のなかでは最も高いものの、3月以降は低下傾向で推移した。「物流費」(65.8%)は、中東情勢の悪化による原油高などの影響を受けた。「包装・資材」(64.0%)は、トレーや容器などナフサ由来の資材価格高騰などを背景に、高い水準での推移が続いた。また、中東発の国際情勢の混乱による影響が要因となった値上げ(「中東情勢」)は27.8%を占め、全体の約3割を占めた。

月別値上げ品目数 推移(2024年以降・2026年7月31日)



[注] 主に全国展開を行う上場・非上場の主要195社(当時の)の2022-26年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

値上げ要因の推移(品目数ベース)

	2026年 7月末	2025年 7月末	2025年 年間累計	2024年 年間累計
原材料高	90.9%	97.2%	96.1%	92.2%
中東情勢	27.8%	—	—	—
エネルギー	63.5%	66.5%	63.8%	60.6%
包装・資材	64.0%	59.4%	62.7%	68.5%
物流費	65.8%	80.0%	78.6%	68.1%
円安 (為替の変動)	7.6%	12.2%	12.4%	28.1%
人件費	52.0%	53.9%	50.3%	26.5%

[注] 値上げ要因には一部重複を含む

2026 年の見通し:

「中東発」値上げラッシュ、今秋にピーク迎える見通し

米国とイスラエルによるイランへの攻撃で急激に高まった中東地域の地政学的リスクと、ホルムズ海峡の混乱に端を発した国内の石油製品の供給不安による影響が、食料品でも表面化してきた。インクや食品フィルム、トレー類などで大幅な値上げや品薄状態による包装資材のコストアップに加え、電気代などのエネルギー、物流費、原材料高も反映され、多くの食品メーカーで製品価格へと転嫁する動きが進んでいる。足元では、中東情勢の不透明感が再度強まっており、原油価格の高止まりが続くほか、1米ドル160円を超える歴史的な円安にも歯止めがかからず、輸入コストの上昇が再び強く影響する兆しもみられる。異常気象による農水産・畜産品の不作・生育不良も懸念されるなど恒常的なインフレ圧力も根強く、価格の引き上げで対応せざるを得ない局面が当面続くものとみられる。

足元では、政府が食品に対する消費税率を8%→1%に引き下げる方針を表明した。実現すれば、家計の食費負担を一定程度軽減する効果が期待できる。ただ、食品値上げの主因が原材料のほか物流、資材、人件費といった「粘着質」なコスト要因で占めるなか、飲食料品の値上げ圧力を直接的に抑制する効果は限定的となる可能性もある。

飲食料品価格は今後も中東情勢や為替動向など外部環境の影響を受けやすい状況が続き、2026年後半にかけても断続的な値上げが継続するとみられる。年間の値上げ品目数は前年並みとなる2万品目台での推移が見込まれ、前年累計を上回る可能性もある。

食品分野別の値上げ動向

食品分野別の推移(品目数ベース)

食品分野別		7月末発表時点							
		2026年		2025年		2024年	2023年		
		品目数 (判明分)	値上げ率	1-12月 品目数	値上げ率	1-12月	1-12月		
	加工食品	6,667	15%	4,791	16%	5,757	11,838		
	調味料	5,197	15%	6,221	13%	1,715	8,052		
	酒類・飲料	3,274	14%	4,901	18%	2,652	6,175		
	菓子	1,219	13%	1,326	18%	1,307	2,270		
	乳製品	188	10%	1,423	9%	392	1,533		
	パン	1,178	7%	1,506	6%	108	1,663		
	原材料	624	10%	441	14%	589	865		
合計	18,347	14%	20,609	15%	12,520	32,396			

[注] 2026年は1-11月の判明分

参考：月別の値上げ品目数推移（～2026年11月）

		食品分野別						単位:品目	
年月		合計	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品	パン	原材料
2022年		25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598
2023年		32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865
2024年		12,520	5,757	1,715	2,652	1,307	392	108	589
2025年		20,609	4,791	6,221	4,901	1,326	1,423	1,506	441
2026年		18,347	6,667	5,197	3,274	1,219	188	1,178	624
2024年	10月	2,924	686	301	1,362	237	100	0	238
	11月	344	126	80	23	103	10	0	2
	12月	109	91	7	0	11	0	0	0
2025年	1月	1,419	58	0	0	87	10	1,264	0
	2月	1,656	589	357	266	329	96	0	19
	3月	2,529	1,381	14	534	140	284	176	0
	4月	4,225	659	2,034	1,222	70	207	0	33
	5月	478	137	192	48	14	14	0	73
	6月	1,940	755	963	33	76	113	0	0
	7月	2,105	117	1,445	206	196	75	0	66
	8月	1,262	188	470	181	19	359	0	45
	9月	1,467	377	427	23	297	138	0	205
	10月	3,161	340	246	2,351	39	119	66	0
	11月	150	46	40	0	56	8	0	0
	12月	217	144	33	37	3	0	0	0
2026年	1月	60	13	17	14	1	0	0	15
	2月	721	307	0	298	67	13	0	36
	3月	712	314	75	224	65	34	0	0
	4月	2,838	609	1,514	403	46	7	0	259
	5月	84	30	0	16	38	0	0	0
	6月	1,078	304	450	18	268	0	0	38
	7月	2,664	1,174	50	53	293	16	1,078	0
	8月	2,311	1,419	589	1	26	0	0	276
	9月	4,531	1,818	1,892	457	166	98	100	0
	10月	2,720	590	610	1,373	127	20	0	0
	11月	628	89	0	417	122	0	0	0
前年(同月)比		単位:%							
2022年		-	-	-	-	-	-	-	-
2023年		25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6
2024年		△ 61.4	△ 51.4	△ 78.7	△ 57.1	△ 42.4	△ 74.4	△ 93.5	△ 31.9
2025年		64.6	△ 16.8	262.7	84.8	1.5	263.0	1294.4	△ 25.1
2026年		△ 11.0	39.2	△ 16.5	△ 33.2	△ 8.1	△ 86.8	△ 21.8	41.5
2024年	10月	△ 38.5	△ 23.0	△ 1.6	△ 57.4	22.8	100.0	-	98.3
	11月	147.5	2420.0	105.1	△ 70.1	472.2	-	-	-
	12月	△ 83.9	9000.0	△ 98.6	-	120.0	△ 100.0	-	-
2025年	1月	357.7	△ 39.6	△ 100.0	△ 100.0	8600.0	66.7	-	△ 100.0
	2月	1.8	△ 8.4	△ 34.5	60.2	153.1	71.4	-	△ 77.9
	3月	229.7	211.0	△ 78.8	631.5	△ 6.0	711.4	-	-
	4月	45.8	△ 68.4	451.2	287.9	△ 44.4	-	-	-
	5月	11.9	41.2	-	△ 81.6	366.7	-	-	10.6
	6月	211.4	129.5	3110.0	△ 10.8	△ 44.9	41.3	-	△ 100.0
	7月	403.6	42.7	36025.0	3.5	161.3	1775.0	△ 100.0	371.4
	8月	90.9	△ 41.1	739.3	201.7	△ 86.7	17850.0	△ 100.0	△ 13.5
	9月	3.7	△ 50.2	121.2	△ 83.0	55.5	39.4	△ 100.0	-
	10月	8.1	△ 50.4	△ 18.3	72.6	△ 83.5	19.0	-	△ 100.0
	11月	△ 56.4	△ 63.5	△ 50.0	△ 100.0	△ 45.6	△ 20.0	-	△ 100.0
	12月	99.1	58.2	371.4	-	△ 72.7	-	-	-
2026年	1月	△ 95.8	△ 77.6	-	-	△ 98.9	△ 100.0	△ 100.0	-
	2月	△ 56.5	△ 47.9	△ 100.0	12.0	△ 79.6	△ 86.5	-	89.5
	3月	△ 71.8	△ 77.3	435.7	△ 58.1	△ 53.6	△ 88.0	△ 100.0	-
	4月	△ 32.8	△ 7.6	△ 25.6	△ 67.0	△ 34.3	△ 96.6	-	684.8
	5月	△ 82.4	△ 78.1	△ 100.0	△ 66.7	171.4	△ 100.0	-	△ 100.0
	6月	△ 44.4	△ 59.7	△ 53.3	△ 45.5	252.6	△ 100.0	-	-
	7月	26.6	903.4	△ 96.5	△ 74.3	49.5	△ 78.7	-	△ 100.0
	8月	83.1	654.8	25.3	△ 99.4	36.8	△ 100.0	-	513.3
	9月	208.9	382.2	343.1	1887.0	△ 44.1	△ 29.0	-	△ 100.0
	10月	△ 14.0	73.5	148.0	△ 41.6	225.6	△ 83.2	△ 100.0	-
	11月	318.7	93.5	△ 100.0	-	117.9	△ 100.0	-	-